

- 1 関西圏域における医療提供体制等の状況
- 2 年齢別新規陽性者数
- 3 年齢別新規陽性者数 対人口割合
- 4 関西圏域における新規陽性者数の推移

(参考1) 第5波から第7波の新規陽性者の状況

(参考2) 人口10万人に対する直近1週間の陽性者数

「新規陽性者」：令和4年9月27日以降の数値は、HER-SYSデータをもとにした厚生労働省の公表値（以下の3つの計）を使用
 ・医療機関からの発生届出対象の報告数
 ・医療機関からの発生届出対象外の報告数
 ・健康フォローアップセンター等での登録数

1

1 関西圏域における医療提供体制等の状況（11月8日0:00時点）

	人口	確保病床 使用率	確保病床 使用率 【重症患者】	新規陽性者 (最近1週間)	新規陽性者の1 週間対比	陽性率 (最近1週間) ※1	重症者数
単位	千人	%	%	対人口 10万人	前週比	%	人
滋賀県	1,414	30.6	3.8	313.8	1.33	62.1	2
京都府	2,578	26.5	10.3	217.5	1.43	50.7	18
京都市	1,464	※2	※2	223.6	1.49	20.8	1
大阪府	8,838	20.2	15.3	254.3	1.24	22.9	236
大阪市	2,756	※2	※2	240.4	1.24	23.7	※2
堺市	826	※2	※2	223.5	1.09	24.7	3
兵庫県	5,465	21.3	7.0	228.6	1.24	39.4	10
神戸市	1,525	25.1	4.4	185.6	1.28	※2	2
奈良県	1,324	※3	※3	246.1	1.20	44.3	2
和歌山県	923	※3	※3	346.8	1.30	49.5	3
鳥取県	553	22.8	0.0	422.3	1.34	18.2	0
徳島県	720	19.2	4.0	267.8	1.69	39.0	1
関西計	21,815	22.6	13.3	255.5	1.28	31.8	272

※1 検査報告の遅れ等の影響により100%を越える場合がある
 ※2 徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市については非公表
 ※3 奈良県、和歌山県の確保病床使用率は運用病床数で算出

2 年齢別新規陽性者数（R4.10.26～R4.11.1）

区 分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	関西計	%
10歳未満	530	355	1,788	1,042	339	297	295	138	4,784	10.9
10代	700	799	2,756	1,923	503	609	305	268	7,863	17.8
20代	402	638	2,773	1,243	324	279	200	114	5,973	13.5
30代	490	546	2,555	1,289	326	288	220	118	5,832	13.2
40代	598	673	2,761	1,625	403	383	233	181	6,857	15.5
50代	399	504	2,624	1,313	353	284	172	118	5,767	13.1
60代	184	256	1,150	802	204	143	139	85	2,963	6.7
70代	145	227	948	511	172	114	88	55	2,260	5.1
80代	82	156	599	264	77	78	64	38	1,358	3.1
90代以上	31	63	170	119	26	31	27	25	492	1.1
計	3,561	4,217	18,124	10,131	2,727	2,506	1,743	1,140	44,149	100.0

※ 年代不明・非公表等の人数は含まれない

（国の公表資料を基に作成）

3

3 年齢別新規陽性者数（R4.10.26～R4.11.1）対人口割合

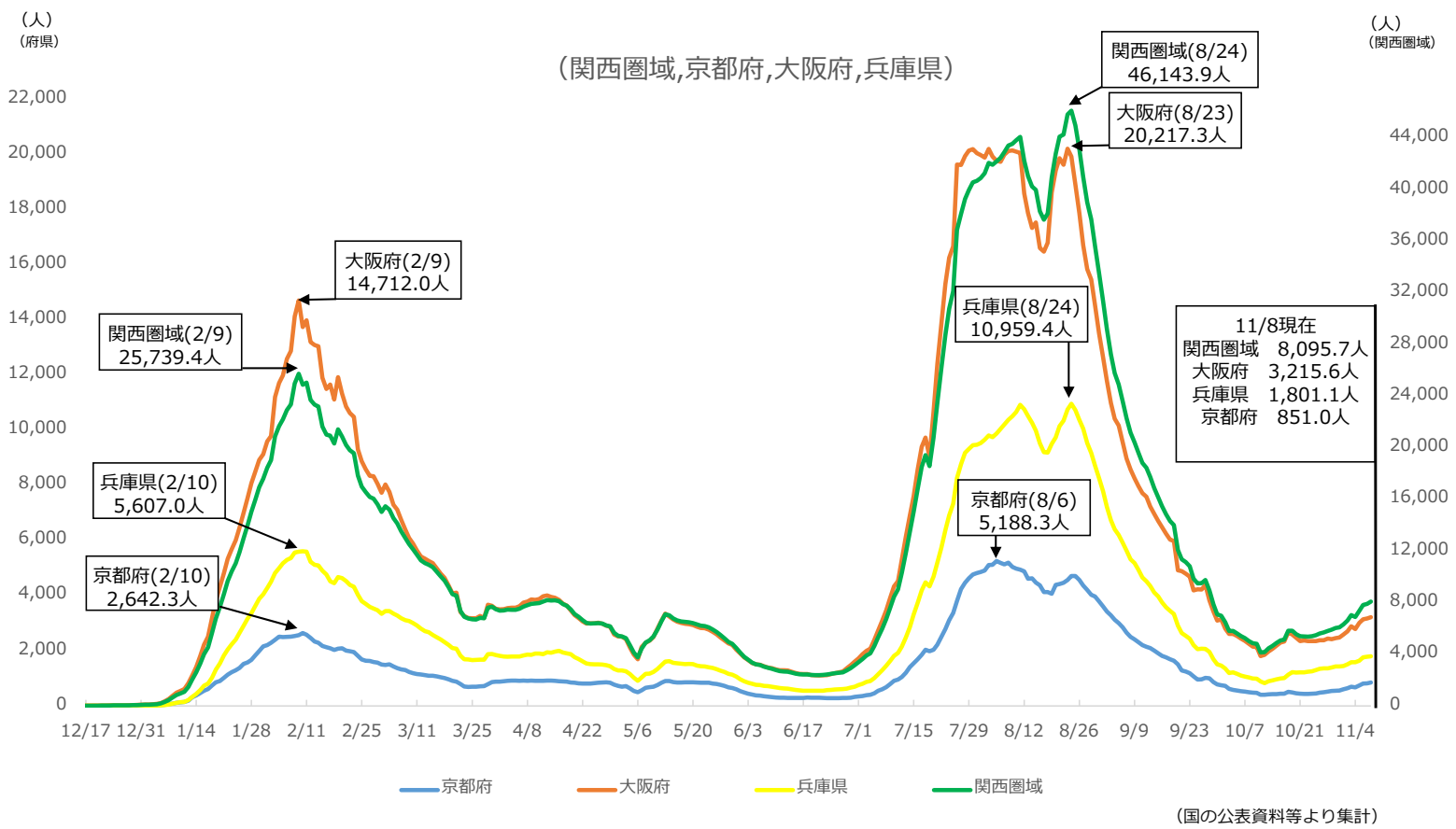
（単位：％）

区 分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	関西全体
10歳未満	0.44	0.19	0.27	0.25	0.36	0.46	0.69	0.29	0.29
10代	0.50	0.36	0.37	0.39	0.42	0.78	0.62	0.46	0.41
20代	0.28	0.22	0.28	0.24	0.28	0.39	0.44	0.19	0.27
30代	0.31	0.21	0.26	0.23	0.26	0.33	0.39	0.17	0.25
40代	0.29	0.19	0.22	0.21	0.23	0.32	0.32	0.19	0.22
50代	0.21	0.15	0.21	0.17	0.20	0.23	0.26	0.13	0.19
60代	0.11	0.09	0.12	0.12	0.12	0.12	0.18	0.08	0.12
70代	0.08	0.06	0.08	0.07	0.09	0.08	0.12	0.05	0.08
80代以上	0.10	0.09	0.10	0.07	0.08	0.10	0.14	0.08	0.09
新規陽性者数/全人口	0.25	0.16	0.21	0.19	0.21	0.27	0.32	0.16	0.20

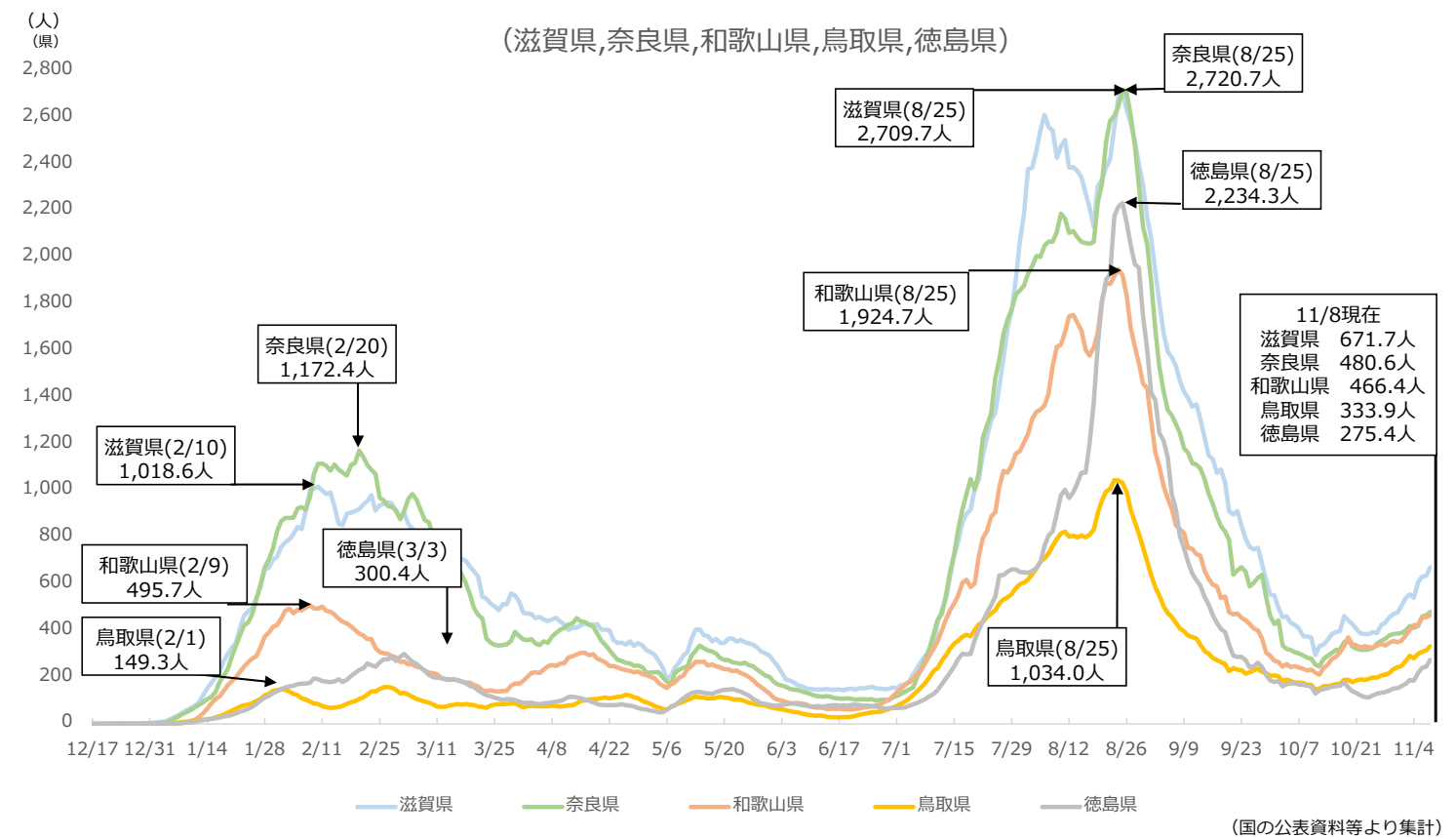
（国の公表資料、総務省統計局「人口推計」令和3年10月1日現在を基に作成）

4

4 関西圏域における新規陽性者数の推移 (R3.12.17～、1週間移動平均)



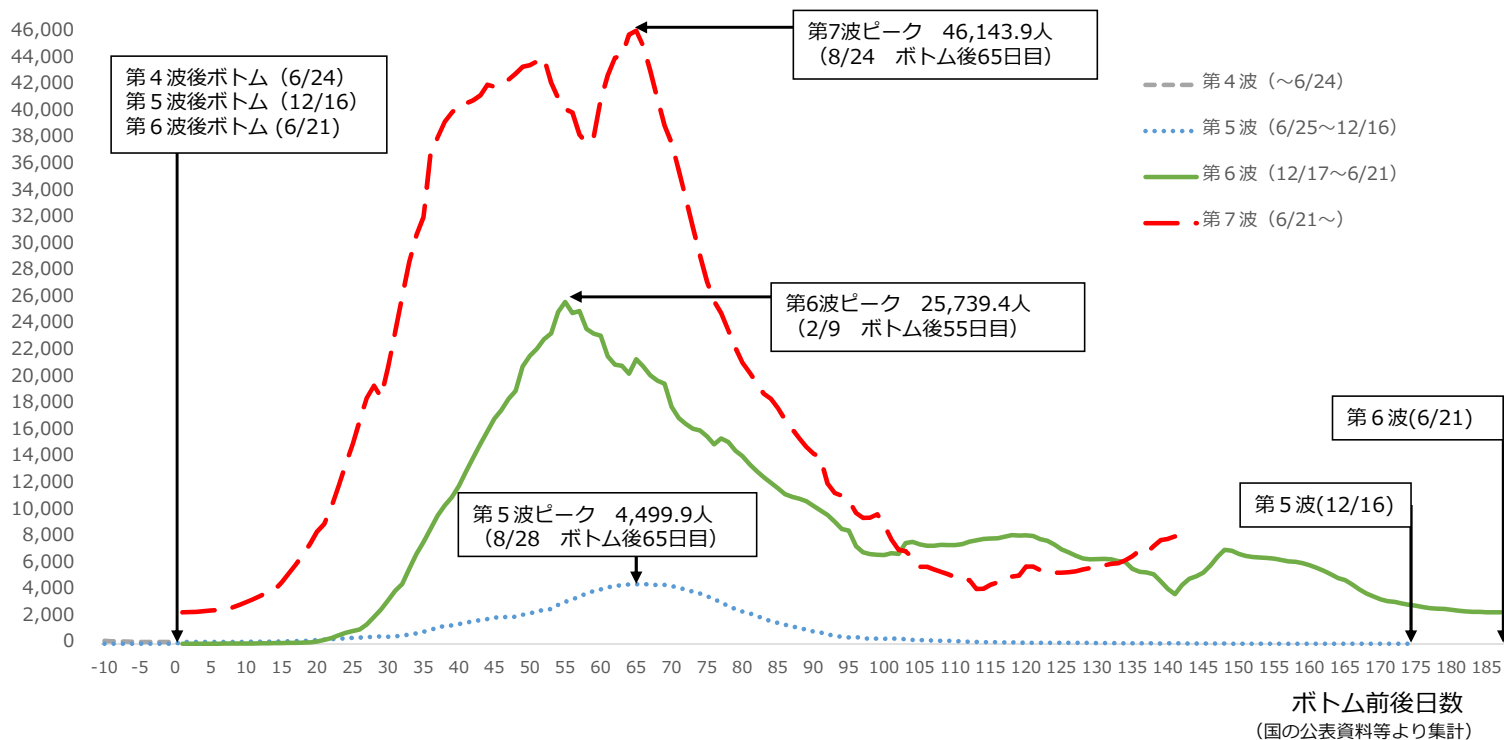
5



6

(参考1) 第5波から第7波の新規陽性者の状況

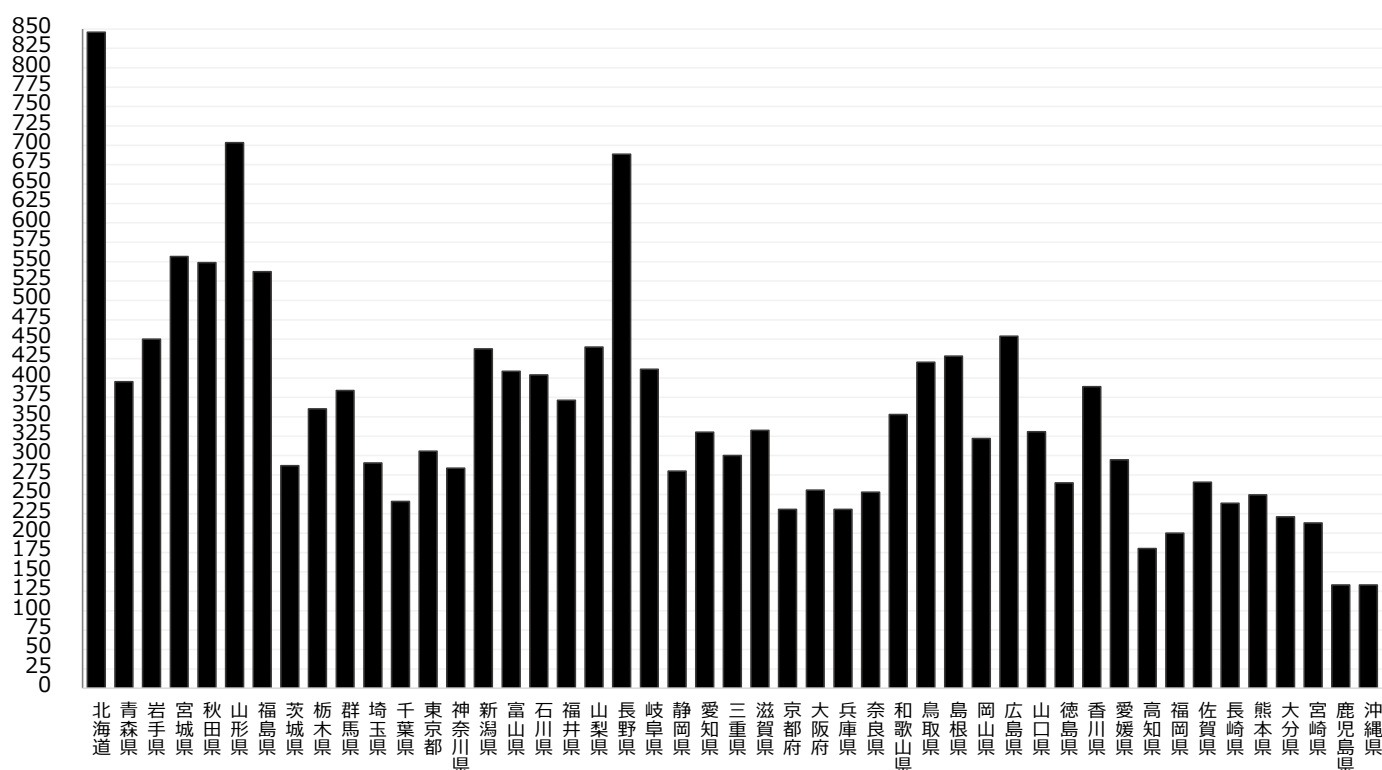
(人) 1週間移動平均



7

(参考2) 人口10万人に対する直近1週間の陽性者数(R4.11.2~R4.11.8)

(人)



(国の公表資料より作成)

8

区分		滋賀県	京都府・京都市	大阪府・大阪市・堺市	兵庫県・神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県
外出自粛		・外出自粛を要請していない	・旅行、帰省等の移動や、人が集まる場所では、混雑状況に気をつけ、基本的な感染対策の実践等、感染リスクを回避する行動をとる ・高齢者や基礎疾患のある方、これらの方と日常的に接する方は、感染リスクの高い場所への外出を控えるなど特に注意 ・体調に不安があるときは家族も含めて外出を控える	・高齢者の命と健康を守るため、高齢者及び同居家族等日常的に接する方は、感染リスクが高い場所への外出・移動を控えること	・外出時には混雑している場所や時間を避けて少人数での行動を要請 ・食べながらの会話など、感染リスクが高い行動の自粛を要請 ・感染不安を感じる無症状者の検査受検を推奨	・外出自粛を要請していない	・安全な生活・安全な外出を心がける	・基本的な感染対策の徹底、感染リスクの回避、感染対策が徹底された飲食店の利用 ・県外先の自治体の要請や情報を踏まえた行動をするとともに、帰県後は無料検査を積極的に受ける	・県外から県内に移動される場合は、本県が用意している「事前PCR検査」や、居住地の一般検査など、無料の検査制度を積極的に活用 ・自身だけでなく、同居の家族も含めて、少しでも体調不良の方がいる場合は、通勤・登校・登園や外出を控える
イベントの開催制限		・国の基準に準ずる	・国の基準に準ずる	・国の基準に準ずる	・国の基準に準ずる	・国の基準に準ずる ・業種別ガイドラインの遵守	・国の基準に準ずる	・国の基準に準ずる ・ガイドラインや感染防止安全計画に沿った感染防止対策を徹底	・国の基準に準ずる ・ガイドラインや感染防止安全計画に沿った感染防止対策を徹底
施設の 使用制限	飲食店 等	・会食は認証店舗で感染リスクを下げる工夫をして行う ・業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施	・適切な感染対策が講じられているお店（認証店）を利用 ・会話の時はマスクを着用 ・お店では大声で話さない ・余裕を持った配席で、長時間に及ばないようにする	[認証店舗以外] ・同一グループ・同一テーブル4人以内要請（5人以上不可） ・利用者に対し、2時間程度以内での利用を求めること [全ての店舗] ・利用者に対し、マスク会食の徹底を求めること ・カラオケ設備を利用する場合は、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策の徹底	[認証店舗] ・認証店認証基準の遵守 [認証店舗以外] ・酒類提供の場合はパーティションの設置等、一定の要件を満たすこと ・「新型コロナ対策適正店認証」取得の推奨 [全ての店舗] ・飲食以外の会話時の適切なマスク着用の推奨 ・利用者の密の回避、手指消毒設備の設置、効果的な換気（二方向の窓開けや気流を阻害しないパーティションの配置等）など業種別ガイドライン等に基づく感染対策の徹底を要請	・換気・マスク着用・飛沫防止措置をお願い ・第三者認証制度の推進 ・業種別ガイドラインを遵守	・各事業所で感染拡大予防ガイドラインを遵守 ・飲食・カラオケは気を付けて、換気にも注意 ・イベントや催物を行う場合は気を付けて	・業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 ・第三者認証制度の推進	・業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 ・とくしまコロナお知らせシステムの活用 ・飲食店・宿泊施設の従業員を対象に、県が配布する抗原検査キットを用いた検査を実施 ・抗原検査キットを用いた従業員等の検査に協力いただいている「コロナ対策三ッ星店」の積極的利用を推奨
	飲食店以外の施設 ・商業施設 ・サービス業 等		・業種別ガイドラインの遵守	・これまでにクラスターが発生しているような施設や3密のある施設は、適切な入場整理等（人数管理、人数制限、誘導等）の実施 ・感染防止対策の徹底	・入場者の整理、入場者への適切なマスク着用の周知、飛沫防止措置等の感染対策の実施を要請（神戸市） ・業種や施設の種別ごとの感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止対策を徹底	・商業施設の自己認証制度の推進 ・業種別ガイドラインを遵守	・各事業所で感染拡大予防ガイドラインを遵守 ・イベントや催物を行う場合は気を付けて		・業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 ・スポーツ施設等で更衣室を利用する際は、必要最低限の利用に留める

各府県市の対処方針に基づく主な措置内容（11月8日時点）

区分	滋賀県	京都府・京都市	大阪府・大阪市・堺市	兵庫県・神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県
学校、大学等	[県立学校] - 各教科等における「感染症対策を講じてもおお感染リスクの高い学習活動」については適切な感染対策を行った上で実施 - 部活動は、可能な限り感染症対策を行った上で、合宿や泊を伴う活動も含め通常の活動が可。（ただし、活動実施地域の感染状況や都道府県の対応等確認し、感染防止対策を徹底）	- 学校、保育所等で決められた感染対策のルールを守る - 毎朝の検温等、子どもの体調管理を行い、家族を含めて発熱等の症状がある場合は登校登園を控える - 学校等が休みの日においても感染リスクが高い行動を控える	[大学等] - 早期のワクチン接種（オミクロン株対応ワクチンの接種含む）を検討するよう周知徹底 - 発熱等の症状がある学生は、登校や活動参加を控えるよう、周知徹底 - 旅行や自宅・友人宅での飲み会、部活動や課外活動における感染リスクの高い活動（合宿等）や前後の会食における感染防止対策の徹底 - 療養証明・陰性証明の提出を求めない	[県立学校] 「学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本に、十分な感染防止対策を実施 - 宿泊を伴う活動は、県内・県外とも、感染対策が確認される宿泊施設に限定する（学校は不可） - 学校衛生管理マニュアルに沿った感染対策を実施 - 教職員に対し、ワクチン接種を呼びかけるとともに、感染リスクの高い行動等を自粛するよう指導（神戸市） [市立学校] - 学校衛生管理マニュアルに沿った感染対策を実施 - 部活動での宿泊を伴う活動は、感染防止対策が講じられている宿泊施設に限定（学校は不可）	学校、保育所に対して感染対策責任者による感染予防対策の励行をお願い	- 学校・教育現場での感染予防対策の徹底 - 部活は、練習試合や合同練習等は慎重に行うこと - 各競技団体等のガイドラインが示す感染予防対策を徹底した上で活動 - 移動、更衣、飲食等、部活動に付随する場面も注意 - 本人及び家族に発熱等の症状があれば、厳に登校しないこと	- 本人、家族が体調に違和感がある場合には絶対に登校しないことの徹底。 - 昼食時は、黙食、対面にならないこと及び会話する場合はマスク着用を徹底。 - 部活等の場面では、マスク着用のメリハリをつけ、ミーティング時、更衣時等はマスク着用を徹底。 - 消毒液の残量を確認し、手指消毒を徹底。 - 換気については、気温が低くなる時期だが、定期的に教室の窓を開け、空気の流れをつくることを徹底。 - 部室、手洗い場、更衣室等の感染防止対策に係る掲示物を目立つように貼ることの徹底。 - 保育施設等、放課後児童クラブは、県ガイドラインを参考に児童・職員の健康管理、正しいマスク着用や手指消毒、暖房使用時のこまめな換気など基本的感染防止対策を徹底 - 早期対応のため、子ども関係施設対策チーム及び学校対策チームにより施設指導等を実施	- 学校運営に関する留意点に沿った学校運営を行う - 各教科等の指導において感染リスクの高い教育活動は指導に関する工夫などを行い実施 - 学校行事の実施について当該地域の感染状況等を十分に確認した上で適切に判断する - 教職員を対象に抗原定性検査を実施 - 就職・進学で県外受験する生徒を対象に抗原定性検査を実施 - 部活動における練習試合、合宿等の実施については、当該地域の感染状況等を十分に確認した上で、適切に判断するとともに、実施の際は、感染症対策を徹底する - 部活動用チェックリスト等を活用し感染防止対策を徹底 - 県外大会参加時等における部員・教員を対象に抗原定性検査を実施 - 通学の再開時等において、陰性確認のための検査や各種証明書の提出を求めない - やむを得ず、登校できない児童生徒への「学びの保障」として、1人1台端末等を活用 [児童等利用施設] - 県ガイドライン及びチェックリストに基づき、感染防止対策を徹底 - 検査を希望する幼稚園・保育所等職員を対象に、抗原定性検査キットを配布し、「抗原検査」を実施 - 同居の家族も含めて少しでも体調不良の方がいる場合は、児童の登園を控える [大学・専門学校等] - 大学等からの要請に基づく「抗原定性検査キット」の配布 - 県の「大規模集団接種」による「ワクチン接種」の推奨 - 学生等への「薬局等における一般検査」や帰省時における「事前のPCR検査」の推奨
事業所等	- 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底 - テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策を行う	- 業種別ガイドラインの遵守 - 在宅勤務等、人との接触を低減する取組の推進 - 出勤時の検温等の健康管理を行い、家族を含めて症状がある場合は勤務させないとともに医療機関へ相談するよう指導する - 職場の感染対策を再点検し、居場所の切り替わりでの注意喚起を徹底 - 症状がある従業員は休務させる	- 早期のワクチン接種（オミクロン株対応ワクチンの接種含む）を検討するよう周知徹底 - 療養証明・陰性証明の提出を求めないよう周知徹底 - テレワークの活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを進めること - 重症化リスクのある従業者等への就業上の配慮 - 業種別ガイドラインの遵守 - 高齢者施設での面会時は、感染防止対策を徹底すること	- 在宅勤務（テレワーク）取組の協力依頼 - 感染防止取組の徹底及び事業継続計画の取組の要請 - 業種別ガイドライン等の実践 - 重症化リスクのある労働者等への就業上の配慮 - 欠勤等の際の療養証明書等の提出を求めないよう要請（神戸市） - 職場への出勤について、在宅勤務（テレワーク）や時差出勤の活用等により、柔軟な働き方を推進するほか、事業継続計画の実施準備及び計画に基づく取り組みを行う。	- 感染防止策の継続 - 高齢者施設等に対して感染対策責任者による感染予防対策の敢行をお願い	- 各事業所で感染拡大予防ガイドラインを遵守 - 在宅勤務やオンライン面会等の有効活用を	- 事業継続計画の再点検及び早期策定の推進 - テレワークや分散・交代勤務の促進 - 十分な換気などのエアロゾル感染対策の徹底	- 基本的な感染防止対策の徹底 - B C P（事業継続計画）の再点検 - 従業員やその家族の体調管理、無料検査受検への配慮 - テレワークや時差出勤の推進 - 業種別ガイドラインの遵守
若年層のワクチン接種率向上への取組	- 県 HP や YouTube で若年層向けにワクチン接種の解説動画やパンフレットを掲載 10月20日から、副反応相談窓口の案内、11月1日からは県大規模接種会場の広告を SNS で配信 - 県大規模接種会場において、県内在住者だけでなく県外在住者（県内への通勤・通学者、県内に本拠を置く事業所・学校に在籍する方、県出身者）も接種対象。また「予約なし接種」の実施、1カ月以上先の予約ができる「事業所・団体先行予約枠」を設定。	- 京都タワー会場において、副反応への不安のある方へのノババックス接種を実施 - 京都タワー会場において、大学・企業等の団体接種を実施 - 大学・企業等の希望により医療従事者等を派遣する「ワクチン接種バス」による出前接種を実施（京都市） - 働いている方、学んでいる方が接種しやすいよう、「平日夜間」や「金曜日・土曜日」にも集団接種会場を開設している。また、予定を立てにくい方のため、「事前予約なし」での接種も実施している。 - 若年層等の目に留まるよう、更なる広報・情報発信に取り組んでいる。 - CMソング形式の動画（30秒CM動画）の制作 - 特設WEBサイト（ランディングページ）の開設 - 接種への理解促進動画（90秒動画）の制作 - WEB広告（Youtube、LINE、Instagram、Twitter、TVer） - 映画館CMの放映 - 京都市バスの側面広告の掲示	30代以下の府民をターゲットに、SNS等を活用した広報・啓発を実施 - 大学・企業等を対象とした府大規模接種会場での団体接種を実施。参加大学・企業を府HPで公表 - 経済団体を通じ、企業に若年層をはじめ従業員等の接種促進に向けた協力を働きかけるとともに、協力企業を府HPで公表（大阪市） 10/20より3回目・4回目未接種者に接種勧奨はがきを順次発送。10/28には就学児を対象に送付。 - 全ての集団接種会場で3回目専用接種枠を設置（16～39歳） - 市HPに若年層向けの特設ページを掲載し、ワクチン接種の正しい知識や効果と副反応について記載 - 若年層に不安を解消してもらうための特設ページを作成（堺市） - 若年層向けに市HPやSNSなどで早期のワクチン接種を検討するよう呼びかけ	- 若年層向けインターネット広告を作成し、追加接種について啓発 - 県大規模接種会場における予約なし接種を実施し、付近の大学等に、取組等の広報活動を実施 - 県内大学から大規模接種会場への送迎にあたり国補助への県独自の追加支援を実施（神戸市） - オミクロン株対応ワクチンの接種を開始し、希望者がすみやかに接種を受けられるよう大規模接種会場を再設置	- 県外在住者の内、県内への通勤・通学者も広域接種会場での接種対象に加えたほか、当日予約も実施 - 加えて、大学、企業等からの団体予約も実施 - 企業に対し、その従業員の接種を働きかけること及び接種しやすい職場づくりを依頼 - 県立高校や私立学校に対し、積極的な情報発信を依頼 - オミクロン株対応ワクチンの安全性や効果などをまとめたQ&Aを作成するなど、情報発信を充実	12～17歳向けの集団接種をショッピングモールで実施（市主催）	- 大学等へワクチンバスによる巡回接種を実施 - インフルエンザワクチンとの同時接種が出来る県営会場の開設 - 市と共同でJ R主要駅前での街頭キャンペーンを実施 2価ワクチン接種のためのプレゼントキャンペーンを展開	- 平日夜間や休日に接種日を設定するなど、接種機会を広く提供できる大規模集団接種会場を駅前やショッピングモール等に設置 - ワクチンに関する疑問を持つ高校生からの質問に、医師や接種を終えた看護学生が答える動画を作成し、県庁舎や市町村、SNS等で発信 - 副反応への不安やアレルギー等の理由で接種を控える若年層等に接種機会を提供するため、県内10箇所の医療機関をノババックス接種センターとして認証し、令和4年10月13日から接種開始